

事務局だより

1. 昭和58年度総会

昭和58年10月7日（金沢大学における第50回大会時に開催）

総会議題

1. 開会

2. 議長選出

3. 事業報告

(1) 会員数

(2) 会員異動状況

(3) 会費納入状況

(4) 常任運営委員会について

(5) 公開シンポジウム開催について

(6) 機関誌発行について

(7) 名簿発行について

4. 日本学術会議心理学研究連絡会報告

5. 心理学諸学会間連絡会報告

6. 国際心理学会記念基金運営委員会報告

7. 第50回大会会計報告

8. 昭和57年度決算

9. 昭和58年度予算

10. 名誉会員推薦について

11. 次期大会開催校について

12. その他

13. 閉会

昭和57年度決算報告

収 入			支 出		
項 目	実 行 額	予 算 額	項 目	実 行 額	予 算 額
前年度繰越金	-295,930	-295,930	49回大会費	300,000	300,000
学 会 費	2,910,500	3,245,000	シンポジウム費	60,351	50,000
過 年 度 分	(492,500)	(760,000)	印 刷 費	986,880	1,500,000
本 年 度 分	(2,367,500)	(2,450,000)	機 関 誌	(966,380)	(1,450,000)
次 月 以 降	(50,500)	(35,000)	そ の 他	(20,500)	(50,000)
雑 収 入	29,250	40,000	運 信 費	361,990	300,000
			機 関 誌	(198,930)	(200,000)
			一 般	(163,060)	(100,000)
			さいころじすと	43,179	100,000
			連 絡 会 費	15,100	20,000
			運 営 委 員 会 費	72,250	100,000
			事 務 局 費	251,250	400,000
			ア ル バ イ ト 費	87,000	50,000
			積 立 金 (名 簿)	100,000	100,000
			予 備 費	0	69,070
			次 期 繰 越 金	365,820	
合 計	2,643,820	2,989,070	合 計	2,643,820	2,989,070

決算報告を承認致しました

鳴 澤 實 印

大久保康彦 印

昭和58年度予算

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	365,820	第50回大会費	300,000
学 会 費		シンポジウム費	70,000
過年度分	700,000	印 刷 費	1,550,000
3500×200		(機 関 誌	(1,350,000)
本年度分	2,450,000	(そ の 他	(200,000)
3500×700		通 信 費	500,000
雑 収 入	20,000	(機関誌・名簿	(300,000)
		(一 般	(200,000)
		さいころじすと費	80,000
		諸学会間連絡会費	20,000
		運 営 委 員 会 費	100,000
		事 務 局 費	400,000
		ア ル バ イ ト 費	50,000
		積 立 金(名簿)	100,000
		予 備 費	365,820
合 計	3,535,820	合 計	3,535,820

日本応用心理学会第49回大会決算報告

大会準備委員会事務局
(国際商科大学教養学部)

<収入>

費 目	金額 (円)	備 考
学会本部よりの補助	300,000	
大会参加費	785,500	正会員(予約) 3,000円×142人=426,000円
		正会員(当日) 3,000 × 86 =258,000
		臨時会員 3,500 × 24 = 84,000
		学生会員 500 × 35 = 17,500
論文集代金	567,500	予約購入
		個人購入 3,000 ×120 =360,000
		機関購入 4,500 × 1 = 4,500
		当日購入 3,500 × 58 =203,000
論文掲載料	366,000	3,000 ×122 =366,000
懇親会費	132,000	3,000 × 44 =132,000
広告料	100,000	
寄付金	1,297,000	
雑収入	1,575	銀行利子を含む
合 計		3,549,575円

< 支 出 >

費 目	金 額 (円)	備 考
印刷費	1,008,650	特別講演, シンポ等の謝礼(非会員), 交通費を含む
謝 金	403,630	
準備委員会会議費	69,000	
懇親会費	569,820	
通信・郵送費	529,320	
会場設備費	108,155	
アルバイト学生謝金	839,500	
雑 費	21,000	
合 計		3,549,575円

・昭和57年度決算 監査委員の鳴澤実, 大久保康彦両氏の監査を受け, 運営委員会ならびに総会において承認を得た。

・昭和58年度予算 運営委員会ならびに総会の承認を得た。

・第49回大会決算 開催校の国際商科大学より報告があり, 運営委員会ならびに総会の承認を得た。

・名誉会員 次の6氏が推薦され, 異議なく承認された。

乾 孝, 鈴木達也, 武田正信, 田中熊次郎, 古武彌正, 横瀬善正。

・次期大会開催校 富士短期大学において, 村中兼松教授を大会会長として昭和59年9月21, 22日に行なうことに決定した。

2. 常任運営委員会記録(前号掲載分以降のもの)

1983年9月20日

出席者: 田中, 村中, 大村, 大脇, 奥沢, 太田垣, 清宮, 斎藤, 高嶋, 高橋, 平野, 村井, 土屋, (星)

報告事項: (1) 第50回大会準備状況について (2) 諸学会間連絡会について (3) 機関誌編集進捗状況について (4) 次期大会開催校について (5) 学術会議関係の事項について

審議事項: (1) 昭和57年度決算の件 (2) 第50回大会時総会準備の件 (3) 大会論文集事務局寄贈の件(各大会の準備委員会から学会事務局に保存用として10冊寄贈してもらう。) (4) 会長職, 副会長職取扱いの件(大会準備委員長が1年間会長となり, 前大会委員長が副会長となる現行会則は, 長所もあるが短所もあるので検討してみる必要があるとの意見が出され, 協議したが, 今後さらに考えることとし結論を出すには至らなかった。)

(5) 名誉会員推薦の件(50回大会までに, 人選を会長,

事務局局長経験者に一任する (6) 新入会員審査の件

1983年11月22日

出席者: 村中, 田中, 石毛, 大塚, 大村, 大脇, 奥沢, 太田垣, 神作, 清宮, 越河, 斎藤, 高嶋, 高橋, 中村, 平野, 宮本, 村井, 土屋, (星)

報告事項: (1) 第50回大会について (2) 第51回大会準備状況について (3) 学術会議関係の事項について (4) 事務局諸報告

審議事項: (1) 「教員免許法改正」に対する本学会の対応に関する件(他学会の動向等について意見交換)

(2) 新入会員審査の件

1984年1月24日

出席者: 村中, 大村, 大脇, 奥沢, 太田垣, 恩田, 金子, 清宮, 斎藤, 高嶋, 高橋, 中村, 永丘, 平野, 松村, 宮本, 森, 村井, 土屋, (星)

報告事項: (1) 第51回大会準備状況について (2) 学術会議関連事項について (3) 事務局諸報告

審議事項: (1) 「教育改革問題検討委員会設置」の件(教員免許法改正等の一連の教育問題について, 応心としていかに対応すべきかを考えることが必要である。そのための委員会を設置してはどうかとの意見が総会でも出され, これに関して協議したが, 賛否両論があり結論を出すまでには至らなかった。継続審議とする。)

(2) 新入会員審査の件

1984年2月28日

出席者: 村中, 石毛, 大塚, 大村, 大脇, 奥沢, 恩田, 太田垣, 金子, 神作, 越河, 斎藤, 高嶋, 高橋, 中村, 永丘, 平野, 松村, 森, 村井, 土屋, (星)

報告事項: (1) 第51回大会準備状況について (2) 国際心理学会運営基金について (3) 学術会議関連事項について (4) 国際心理学者名簿作成について (5) 事務局諸報告

審議事項：(1) 教育改革問題検討委員会設置の件（前回からの継続で設置について協議したが、結論はさらに次回まで持越しとなる。）(2) 新入会員審査の件

1984年3月27日

出席者：村中、大村、大塚、大脇、奥沢、恩田、太田垣、金子、神作、清宮、越河、斎藤、高橋、中村、永丘平野、松村、宮本、森、村井、(星、岡)

報告事項：(1) 心理学諸学会間連絡会について (2) 昭和59年度公開シンポジウムについて (3) 第52回大会開催校について (4) 第51回大会準備状況について

審議事項：(1) 教育改革問題検討委員会設置の件（3回にわたる慎重討議の結果、この委員会の設置は見送ることに決定。）(2) 国際応心大会（1990）日本開催案の件（国際応心大会日本事務局より本学会の意向を非公式に打診してきているが、判断材料不足のため現段階では返答せず。）(3) 新入会員審査の件

1984年4月27日

出席者：村中、石毛、大塚、大脇、太田垣、金子、越河、斎藤、高嶋、中村、永丘、正田、宮本、村井、土屋(岡)

報告事項：(1) 第51回大会準備状況について (2) 「応用心理学研究」編集状況について (3) 学術会議関連事項について

審議事項：(1) 今年度公開シンポジウムの件（テーマについて諸案出るも決定に至らず）(2) 第52回大会開催校の件 (3) 学会案内作成の件 (4) 国際応心大会日本開催案の件 (5) 新入会員審査の件（学部学生で入会を希望する者があるが、認めないことを確認。）

1984年5月15日

出席者：村中、大村、大脇、清宮、斎藤、高嶋、高橋永丘、平野、森、村井、土屋、(岡)

報告事項：(1) 心理学諸学会間連絡会について（本年度の幹事学会は、本学会が担当。）(2) 第51回大会準備状況について

審議事項：(1) 公開シンポジウムの件（清宮委員がオーガナイザーとなり、10月頃に開催予定）(2) 第52回大会開催校の件 (3) 昭和58年度決算の件 (4) 昭和59年度予算案の件 (5) 国際応心大会日本開催案の件 (6) 新入会員審査の件

1984年6月29日

出席者：(1) 村中、安倍、石毛、大塚、大脇、奥沢、恩田、金子、斎藤、高嶋、高橋、中村、永丘、松村、宮本、村井、土屋、(岡)

報告事項：(1) 第52回大会開催校について（岩手大学人文社会科学部に内定、詳細は未定）(2) 学会案内作成について（主として入会希望者のためのものである

が、全会員に見本として発送した旨報告あり。）(3) 第51回大会時「総会」の準備について（今年は、常任運営委員の改選期に当たっているので、総会までに運営委員の確認を行う。）

審議事項：(1) 昭和59年度予算案の件（大会補助金増額の修正、機関誌編集費の項目新設を行ない原案を承認。これを予算案として総会に提出する。）(2) 公開シンポジウムの件（清宮委員立案の「身障者と生活環境（仮）」を承認、清宮委員が司会者となり、今秋開催）(3) 国際応心大会日本開催案の件（世話人からの本学会への意向打診に対する回答を協議。現段階では情報不足のため賛否いずれとも決しがたい。関係者を集めて説明会を開くよう本学会として提案することとする。）(4) 新入会員審査の件

3. 一般活動状況、事務諸報告

(1) 本学会名簿（1983年版）が出来上り、会員に送付（昭和58年10月）

(2) 「応用心理学研究 第8号」が出来上り、会員および関係機関に送付（昭和58年10月）

(3) 第50回大会は、昭和58年10月7、8日、金沢大学（大会準備委員長 田中富士夫教授）において開催、成功裡に終了

(4) 学会案内書を作成し、会員に送付（昭和59年6月）

(5) 心理学諸学会間連絡会の今年度幹事学会を本学会が担当（幹事として高橋たまき、村井健祐の両名がこれに当る。）

(6) 昭和59年4月1日より、事務局員が、星那智子から岡美樹に交替

4. 第50回大会発表題目変更、発表取消し等

題名変更：1件

(交通)

西山 啓（広島大学）

大塚秀治（山口県修成小学校）

運転者の道路環境の認知に関する研究

——道路標示・標識等の瞬間的判断について

↓

運転者の意見・態度に関する一考察(1)

連名者削除：1件

(臨床・相談)

藤井道子（立教大学）

村瀬孝雄（立教大学）

家族面接のあり方をめぐり一考察

↓

村瀬孝雄を削除

発表取消：8件

以下の発表は、正式発表から削除する

(検査・測定)

尾齒成穂(宮崎県立日南高校)

高校生集団知能検査の信頼性に関して

(教育)

松沢孝博(愛育養護学校)

くり返す動きについての考察——知恵遅れの幼児の
場合——

(臨床・相談)

新井 順(社会福祉法人育心会)

ideot savant に関する能力分析

中住孝典(東京青梅病院)

成田 猛(成城墨岡クリニック)

アルコール病者の集団療法——混合病棟の患者を中
心として——

三村保子(西南女学院短大)

地域社会における発達障害児の親とボランティアと
のパートナーシップについて

(矯正・非行・犯罪)

渡辺彰一(喜連川少年院)

少年院における新入時教育について

(社会・文化)

家本 修(大阪大学)

建築空間の知覚に関する研究(感覚相互作用につい
て)

(交通)

三浦利章(大阪大学)

行動的視覚と周辺視パフォーマンス

八重沢敏男

大塚俊男

丸山 晋

山中賢二

上田雅夫

酒井良之助

玉井 寛

中村博士

谷口泰富

須藤容治

重本直利

三根 浩

大塚一郎

菅美登子

片岡 博

近藤裕彦

川崎俊一郎

大川雅司

石坂 和

松田浩平

萩野浩子

早坂三郎

伊勢民人

柳井 修

5. 新入会員, 住所変更, 退会者(昭和58年名簿掲載 時以降で昭和59年6月迄の分, 順不同)

新入会員

遠藤小夜子

高石光一

大谷哲朗

眞島祥子

両角 智

千葉忠吉

鉅鹿健吉

鈴木芳正

松本 憲

下平光太郎

三村 健

勝見正彦

牧野 晋

稲富正治

小田智子

高瀬義幸

二挺木秀雄

関根一美

白岩紘子

加藤基子

川 村 玲 子
高 橋 慶 治
福 岡 孝 純
村 田 晃
大 野 敦 子
佐 藤 誠
橋 本 泰 子
森 永 良 子
味 酒 理 恵

戸 田 勝 也
木 津 川 家 久
門 田 寿 秋

相 原 和 彦
松 田 幸 弘
八 木 孝 彦
板 垣 文 彦

福 井 至
七 尾 和 之

若 原 克 文
西 川 博 文
山 田 雄 一
足 立 明 久
吉 沢 勇

住所変更

中 住 孝 典
藤 田 洋 一

西 野 泰 広
渡 辺 浪 二
金 子 信 光
中 塚 綾 子
今 井 保 次

松 山 欣 子

阿 久 津 洋 巳
高 橋 哲 也

亀 井 一 綱

片 山 義 弘

平 木 典 子
藤 田 利 信

斉 藤 永 子
森 川 泰 寛

佐々木 正 宏

古 川 久 敬

原 田 卓 夫
坂 口 哲 司

茨 島 敏 伯
中 村 完
岸 田 孝 弥
荻 野 七 重
田 中 千 鶴 子

梅 野 邦 生
井 上 正 明
梅 田 昭 吾
西 田 順 造

佐々木 初 夫
田 中 佑 子
舟 木 哲 朗

相 馬 朝 江

小 野 公 一
吉 田 信 弥
塚 原 一 史
(旧姓;小林)
内 藤 哲 雄

金 田 文
岸 本 陽 一
神 蔵 幸 子
田 野 洋 一 郎

三 田 英 二

林 倫 子
(旧姓;石渡)

伊 藤 裕 子
片 野 卓
高 木 寿 夫
森 和 彦
尾 菌 成 穂
八 木 昭 宏
三 村 保 子

井 手 正 吾

退会者

津守 真, 酒木 保, 前川雅之, 加藤真一郎, 中西郁子, 針生 享, 萩野美佐子, 種村 純

6. 寄贈文献, 雑誌 (昭和58年4月以降の分)

学会事務局につぎのような文献, 雑誌が寄贈されておりますのでご利用下さい。

定期刊行物 (巻は Vol. に, 号は No. に統一)

社会福祉学部研究報告 (愛知県身障者センター)

1983, Vol. 8~

放送研究と調査 (NHK 総合放送文化研究所)

1983, Vol. 33, No. 4~

母子保健情報 (恩賜財団母子愛育会)

1983, No. 7~

科学警察研究所報告 (交通編)

1983, Vol. 27~

科学警察研究所報告 (防犯少年編)

1983, Vol. 23, No. 2~

科学警察研究所年報 昭和57年度

生活心理分析 (GAUSS 生活心理研究所)

1983, No. 20~

関係学研究 1983, Vol. 11, No. 1~

IATSS Review (国際交通安全学会)

1983, Vol. 9, No. 1~

IATSS Research

1983, Vol. 7~

職研調査研究報告書

1983, No. 28~

鉄道労働科学

1983, Vol. 37~

基礎心理学研究

1983, Vol. 1~

指導と評価

1983, Vol. 29, No. 5~

人事試験研究

1983, No. 107~

進路指導研究

1983, Vol. 3~

スポーツ心理学研究

1983, Vol. 9, No. 1~

産業安全研究所年報

1982, 昭和57年度~

音楽療法研究年報

1983, Vol. 12~

人文学研究所報 (神奈川大学)

1983, No. 17~

人文研究 (神奈川大学)

1983, No. 84~

研究紀要 (鹿児島女子大学)

1983, Vol. 4, No. 1~

職業訓練大学校紀要

1983, Vol. 12~

筑波大学心理学研究

1983, No. 6~

東京大学教育学紀要

1983, Vol. 22~

名古屋大学教育学部紀要

1983, Vol. 30~

Hiroshima Forum for Psychology

1983, Vol. 8~

明星大学心理学年報

1983, Vol. 1~

早稲田大学システム科学研究所報

1983, No. 36~

早稲田心理学年報

1983, Vol. 15~

東京学芸大学紀要 (教育科学)

1984, Vol. 35~

心理学関係研究文献資料集 (岐阜大学教育学部心理学研究室)

1984, No. 143~

図 書

北原歌子 「コミュニケーティング——子どもとサイコドラマ」誠信書房, 1983.

油谷 遵 「マーケティング・サイコロジー」弓立社 1984.

油谷 遵 「20世紀末・消費生活」弓立社, 1984.

7. 訂正とお詫び

会員名簿および「学会案内」に掲載の運営委員名簿中

に遠藤辰雄氏の氏名が落ちております。また、「学会案内」の運営委員名簿に載っている高橋たまき氏に常任を示す○印が落ちております。上記を訂正致しますとともに、両氏にお詫び致します。

8. 訃 報

会員 鈴木幹人氏が逝去（昭和59年6月3日）なされました。謹しんで哀悼の意を表します。